

編集長まめこの
まめまめ
放浪記

成田 尚 (なりた しょう)

『万耀自得窯』

〒421-1101 藤枝市岡部町玉取 217-1
Tel/ 054-668-0408 Fax/054-668-0072
HP/ <http://kobo-asahina.com/>



『地酒 BAR イーハトーヴォ』の後藤さんのご紹介で、今回は陶芸家の成田尚さん取材させていただくことになりました！成田さんの工房には年季の入った窯小屋や作業小屋があり、母屋には成田さんの器がズラリと並んでいます。陶芸の世界に入ったら、何が見えるのでしょうか。さあ、未知なる世界にいざゆかん！

写真右 / 岡部町の土を混ぜて焼かれた、素朴で上品な肌合いの花瓶。成田さんの作品です。
左 / 『工房あさひな』の作業場で器作りに打ち込む生徒さん。

『工房 あさひな』

陶芸教室 (月 2 回) /

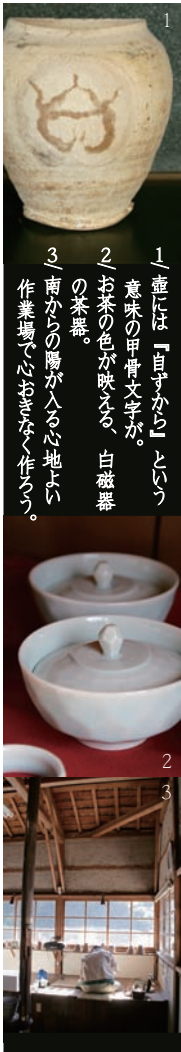
日時: 毎月 (第 1・第 2) 日曜日・火曜日
13:00 ~ 15:00

※月謝等の詳細は直接お問合せ下さい。
※一日体験コース…2 ~ 3 時間 (¥5,000)

つくろい教室 (壊れた器の修理) /

日時: 毎月 (第 1・第 2) 日曜日・火曜日
10:00 ~ 12:00

※月謝等の詳細は直接お問合せ下さい。



1 壺には「自ずから」という意味の甲骨文字が。
2 お茶の色が映える、白磁器の茶器。
3 南かつの陽が入る心地よい。作業場で心おきなく作ろう。

「そうなんです。以前に春野菜が力強く土から出てくる様子に感動を覚えたか
いな躍動を感じたんですが…
すこいなア…自然も神様も自分も、すべてが混ざり合って器は出来るんだ。私、さつき成田さんの器を見て、春の生き物みたいな躍動を感じたんですが…」

「よし、挑戦してみるか！
私の中から、どんな器が生れるだろうか。」

「それはね、『自ずから』って意味の甲骨文字なんです。漢字の元になる文字ですが、私は「自然に無理なく」って意味だと考えてるんです。器を作るときは、こんな風に作つてやろう、なんて思つて作りません。風土に身をまかせて、大らかな心で作る。窯に入れたら、窯神さまにまかせろ。火や灰の具合で仕上がりは想像と随分違うこともあるけど、出来上がったものは愛でる。神様が創ったものだから…」

「それはね、『自ずから』って意味の甲骨文字なんです。漢字の元になる文字ですが、私は「自然に無理なく」って意味だと考えてるんです。器を作るときは、こんな風に作つてやろう、なんて思つて作りません。風土に身をまかせて、大らかな心で作る。窯に入れたら、窯神さまにまかせろ。火や灰の具合で仕上がりは想像と随分違うこともあるけど、出来上がったものは愛でる。神様が創ったものだから…」

「それはね、『自ずから』って意味の甲骨文字なんです。漢字の元になる文字ですが、私は「自然に無理なく」って意味だと考えてるんです。器を作るときは、こんな風に作つてやろう、なんて思つて作りません。風土に身をまかせて、大らかな心で作る。窯に入れたら、窯神さまにまかせろ。火や灰の具合で仕上がりは想像と随分違うこともあるけど、出来上がったものは愛でる。神様が創ったものだから…」

「それはね、『自ずから』って意味の甲骨文字なんです。漢字の元になる文字ですが、私は「自然に無理なく」って意味だと考えてるんです。器を作るときは、こんな風に作つてやろう、なんて思つて作りません。風土に身をまかせて、大らかな心で作る。窯に入れたら、窯神さまにまかせろ。火や灰の具合で仕上がりは想像と随分違うこともあるけど、出来上がったものは愛でる。神様が創ったものだから…」

「それはね、『自ずから』って意味の甲骨文字なんです。漢字の元になる文字ですが、私は「自然に無理なく」って意味だと考えてるんです。器を作るときは、こんな風に作つてやろう、なんて思つて作りません。風土に身をまかせて、大らかな心で作る。窯に入れたら、窯神さまにまかせろ。火や灰の具合で仕上がりは想像と随分違うこともあるけど、出来上がったものは愛でる。神様が創ったものだから…」

「それはね、『自ずから』って意味の甲骨文字なんです。漢字の元になる文字ですが、私は「自然に無理なく」って意味だと考えてるんです。器を作るときは、こんな風に作つてやろう、なんて思つて作りません。風土に身をまかせて、大らかな心で作る。窯に入れたら、窯神さまにまかせろ。火や灰の具合で仕上がりは想像と随分違うこともあるけど、出来上がったものは愛でる。神様が創ったものだから…」

「それはね、『自ずから』って意味の甲骨文字なんです。漢字の元になる文字ですが、私は「自然に無理なく」って意味だと考えてるんです。器を作るときは、こんな風に作つてやろう、なんて思つて作りません。風土に身をまかせて、大らかな心で作る。窯に入れたら、窯神さまにまかせろ。火や灰の具合で仕上がりは想像と随分違うこともあるけど、出来上がったものは愛でる。神様が創ったものだから…」

「それはね、『自ずから』って意味の甲骨文字なんです。漢字の元になる文字ですが、私は「自然に無理なく」って意味だと考えてるんです。器を作るときは、こんな風に作つてやろう、なんて思つて作りません。風土に身をまかせて、大らかな心で作る。窯に入れたら、窯神さまにまかせろ。火や灰の具合で仕上がりは想像と随分違うこともあるけど、出来上がったものは愛でる。神様が創ったものだから…」